

鴻池荘 通所リハだより

令和1年
6月号

通所リハビリテーションに期待されていること



認知症リハビリテーションについて

身体機能の低下は抑うつ傾向や認知機能の低下を引き起こし、精神の健康も損なっていきます。「心身一如」という言葉のとおり、心と身体は密接な関係で結びついているので、心と身体に両方に働きかける運動療法はとても重要なものとなります。また運動療法には、脳の血流を改善・活性化を図る効果も認められています。

さらに認知機能へ働きかける「認知症短期集中リハビリ」と併用してサービスを受けていただくことが、認知用予防へ最も効果的と考えています。

今回は、運動療法・認知リハともに意欲的ではありますが、認知機能の低下により、失敗が増え、苛立ちに繋がっている利用者に対し、家族支援も含め、介入してきた経過を報告させていただきます。

軽度認知機能障害

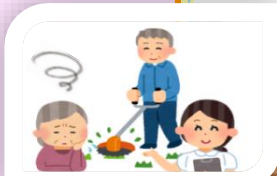
奥様と2人暮らしをしているAさん。元々プライドが高く、とても几帳面でした。数年前から軽度のアルツハイマー型認知症を発症し、記憶力や計画性が低下。さらに、病気の自覚がない状態で生活されています。

機能訓練

マントレーグや認知リハにもAさんは参加しています。しかし時間の感覚やプログラムの順番・準備に間違いが始め、苛立ちから運動メニューを途中でやめてしまう様子が見られていました。担当作業療法士は専門的評価のもと、Aさんの言動、面接による想いの分析を臨床心理士と行い、間違いが起こる前のケアと「きちんとこなしている事を称賛」を毎回、丁寧に行いました。適切に関わる事ができたことで、「機能訓練」は身体への効果だけではなく、几帳面でプライドの高いAさんにとって、心地のよい満足のいくプログラムとなっています。

家族支援

Aさんは昔と同じように「草刈りは俺がしとく」と奥様に言われますが、奥様は心配で「一人で出来ないでしょう」と言い合いになってしまいます。作業療法士は奥様に、「事実だけを伝えるのではなく、Aさんの“手伝いたい”という気持ちを汲んだ声掛けをする必要がある」と伝えました。具体的には「今から●●の用事をお願いしたいので、草刈りはまた明日。ありがとうございます」と対応するよう提案し、奥様もこの対応により言い合いなく、安心して頂くことができました。このような利用者に合わせた具体的な関わり方法の提案が認知症高齢者には重要と考えています。



サービス紹介

認知症短期集中リハビリテーション



認知機能の低下予防、向上が目的

2日/週、認知機能を維持・向上するための訓練を実施する

鴻池荘では・・・

- 計算、音読などの**プリント課題**
- 積み木、図形選び等の**構成課題**
- 歩行、エルゴメーター等の**有酸素運動**



研究では3年以上、認知機能の維持に効果があるといわれています。

プランター菜園の良い季節です



鴻池荘には普段ご利用者が過ごしていただく
デイルームから近い場所にウッドデッキがあります。
車椅子での移動も可能であり、ご利用者と一緒
に水やりをしたり成長を見守っています。

左：花おくら、右：最近収穫できるようになったいちごです

介護老人保健施設鴻池荘

TEL 0745(64)2180

受付時間 9:00~17:00

FAX 0745(62)1092

担当者：相談員